

ガバナー月信

新潟市内7ロータリークラブ合同例会・懇親会



月信4月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 米山記念奨学生終了式
- ③ 米山年度会長エレクト研修セミナーを終えて
- ④ 村松ロータリークラブ創立60周年記念式典
- ⑤ ローターアクト地区大会
- ⑥ 財団委員会通信
- ⑦ 会員数報告
- ⑧ 地区主要行事予定(4月・5月)
- ⑨ 新入会員紹介・訃報
- ⑩ コーディネーターニュース
- ⑪ ハイライトよねやま



国際ロータリー第2560地区
2022-23年度

高橋ガバナー事務所

〒950-8053
新潟市中央区川端町6-53 ホテルオークラ新潟 1F
TEL: 025-222-2561 FAX: 025-222-2565



国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 ガバナー
高橋 秀樹 (新潟 RC)

皆様こんにちは。

先月は、トルコ・シリア大地震被災地支援のために多額の御協力を頂き、まことにありがとうございました。お預かりしました浄財は、ガバナー会を通じて速やかに現地トルコの RI2430 地区、Emre Ozturk ガバナー宛に送られます。被災地の一刻も早い復旧と復興をお祈りします。

さて、先月 11 日にジオワールド VIP にて会長エレクト研修セミナーが開催されました。これによって、各クラブの会長エレクトは会長就任の資格を得ることになりますので、これからはそれぞれのクラブで来年度の準備が本格的に進んでいくこととなります。今年度もまだ 3 カ月ありますから、今年度の活動内容も疎かにすることなく実施していただきたいと思いますが、来年度が充実した輝かしい年度になるよう、国際ロータリー会長エレクト、ゴードン・マッキナリー氏のテーマと、米山ガバナーエレクトの地区運営方針の下、鋭意準備を進めて頂きたいと思います。その際、来年度に向けて次のことを念頭に置いて頂ければ幸いです。

第一に、これまで自粛してきた、クラブ内の、あるいはクラブ間の交流活動をぜひ活発に再開し、大いにクラブの雰囲気盛り上げてほしいと思います。やはりロータリーは楽しい集まりでありたいものです。

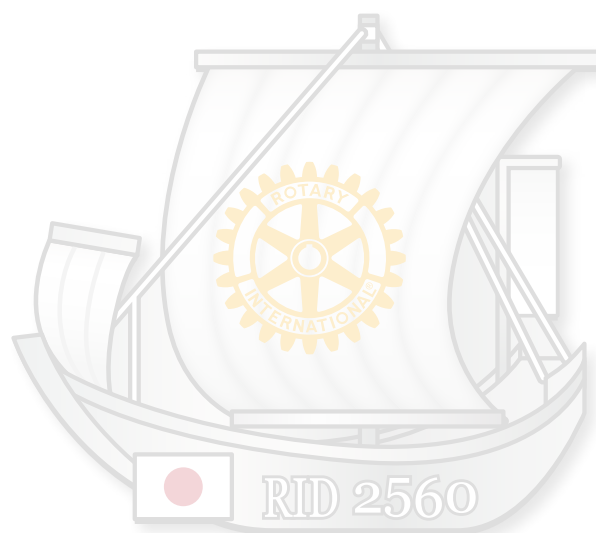
第二に、COVID-19 感染症拡大防止のための各種規制が大きく緩和され、社会奉仕活動を思う存分実施できる年度になるということです。各クラブを公式訪問してきた中でわかりましたが、これまで継続的に実施してきた活動をやむを得ず中断しているクラブがたくさんありました。ぜひそれらの活動を再開して頂けたらと思います。

第三に、COVID-19 感染症と戦ってきたこの三年間で、社会の様々な面が大きく変化してしまったということです。三年前とは社会的ニーズが大きく異なっていると思います。新たな必要性にどのようにロータリーが寄与できるか、ぜひ積極的に検討して頂ければと思います。いろいろな課題があると思いますが、来年度の国際ロータリー会長のゴードン・マッキナリー氏は、特にメンタルヘルスの問題を取り上げていますので、この方面にも目を向けて頂ければ幸いです。

第四に、女性会員増強について改めて力を入れて頂ければと思います。今年度の国際ロータリー会長であるジェニファー・ジョーンズ氏は 30% という目標を掲げました。しかし、日本では未だ 7%

程度に過ぎず、当地区も7%台に過ぎません。米山ガバナーエレクトは各クラブ会員の20%以上という目標を掲げておられます。この目標に向かって、早めに来年度の準備をお進めいただければと思います。

今年度の残りの期間が一層充実したものとなるよう、そして、それをジャンプ台として素晴らしい来年度をお迎えになりますよう、皆様の御活躍をお祈りいたします。





米山記念奨学生終了式

国際ロータリー第 2560 地区

2022-23 年度 米山記念奨学委員会 副委員長

野澤 修 (新潟東 RC)

国際ロータリー第 2560 地区米山記念奨学生終了式が 3 月 4 日に新潟市内で開催され、3 月をもって奨学期間を終了する 16 名の奨学生に高橋秀樹ガバナーより終了証が手渡されました。今回の終了式はカウンセラー、継続奨学生、学友も揃っての参加となり、大勢で新たな門出を祝うことができました。

終了式では奨学生一人一人から今までの思い出を語ってもらう機会がありましたが、世話クラブやカウンセラーへの感謝の気持ちを語る奨学生が多く見られました。奨学生には今後もこの繋がりを大切に将来の目標に向かって進んでほしいです。

世界に目を向けるとロシアのウクライナ侵攻により、生活さえ、ままならない人達があります。これは決して対岸の火事ではありません。米山記念奨学生は草の根の親善大使と言われることがあります。平和を希求する為に私達ができることは限られていますが、まずはロータリアンと米山奨学生が国や文化、生活習慣の違いを乗り越え、お互いを理解し合うことが大切なのだと思います。

今後も米山奨学事業へご理解いただけるように尽力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。







米山年度会長エレクト研修セミナーを終えて

国際ロータリー第 2560 地区

2023-24 年度 会長エレクト研修セミナー

実行委員長 **渋谷 義徳** (三条北 RC)

米山年度の PETS 会長エレクト研修セミナーを 3 月 11 日 (土) 三条市のジオ・ワールド VIP にて、開催しました。

研修セミナーには地区役員、クラブ会長・幹事エレクト、ローターアクト会長・幹事ら 140 名の登録をいただき、新型コロナウイルス感染防止の行動規制の緩和を踏まえて、一堂に会しクラブ会長エレクト、幹事エレクトには約 5 時間のセミナーを受講していただきました。

密接を避けるために地区役員の出席対象者数を減らしてご案内をさせていただきましたが、それでもセミナー会場では窮屈な思いをしていただき申し訳なく思っています。

セミナーはスケジュール通り進み、米山忠俊ガバナーエレクトより「RI 会長方針と新年度基本方針」について説明発表があり、午前中の前半が終わりました。後半は「次年度委員長基本方針発表」があり、ガバナー事務所からの「お願い」「地区研修・協議会」「地区大会の案内」のあと昼食休憩になりました。

午後の部は会場の都合で「分区セミナー」に替えて分科会形式で、①会長幹事セミナー ②ガバナー補佐懇談会 ③地区委員長セミナーを行い、ガバナー補佐から「就任にあたり一年の抱負と方針について」発表をいただき、最後に高尾茂典地区研修リーダーから講評をいただき今回のセミナーを閉会しました。

懇親会では、アクリルパネル無しの座席でアトラクションのジャズ演奏を聴きながら和やかに歓談が行われ楽しいひと時を過ごすことが出来ました。





村松ロータリークラブ 創立 60 周年記念式典

村松ロータリークラブ
2021-22 年度 第 60 代会長
金子 洋

令和 5 年 3 月 18 日（土）当クラブの創立 60 周年記念式典を割烹 松の家において開催しました。高橋秀樹ガバナーを始め、米山忠俊ガバナーエレクト、歴代パストガバナー、ロータリアンの皆様、そして五泉市長 田邊正幸様を始め、来賓の方々をお招きし、盛大に執り行う事が出来ました。

式典では記念事業としての交通安全啓発看板修繕の報告があり、歴代会長に感謝状の贈呈を行いました。その後、五泉市長 田邊正幸様より祝辞を頂き、記念講演「五泉がさらに輝くまちへ」の題でこれからの五泉市のビジョンについて講演の後、無事閉会となりました。

祝賀会では永谷寺住職 吉原東玄様より「なぜ今、『仏教』なのか」とギター演奏を交えての講話に続き、米山忠俊ガバナーエレクトの乾杯の後、大変盛り上がった宴会となりました。

最後は久しぶりに「手に手つないで」を実際に手をつないで歌い、終宴となりました。

COVID-19 流行の為、一年遅れの式典となりましたが、対面で集まりお酒を酌み交わせる祝賀会を挙行出来た事を嬉しく思います。





第53回ローターアクト地区大会

国際ロータリー第2560地区
2022-23年度 地区大会実行委員長
高橋 優太 (新潟 RAC)

3/18(土)にANAクラウンプラザホテル新潟にて、「Rerise～“さいこう”のとき～」というテーマのもと、第53回地区大会を実施いたしました。

コロナ前とコロナ禍の両方の活動を経験してきた中で、コロナ前の“リアル”での濃密な交流、コロナ禍でのオンラインによる行事への参加ハードルの低減など、各々の良さを組み合わせることでアクトが今まで以上に輝いていくことができると思い、本大会のテーマとしています。

地区大会当日は「最高の瞬間」という共通テーマのもと、クラブごとに活動報告を行っていただきました。報告写真からは会員が生き生きと活動している様子が見て取れ、発表形式含め、そのクラブの特色が出ているととてもいい報告会となりました。

また、基調講演ではeスポーツプロゲーマーである農頭様より、「eスポーツが創る最高の瞬間」という題でご講演いただきました。近年盛り上がりつつあるeスポーツを参考に、アクトを盛り上げていくためにどのように行動を起こしていけばいいのかのヒントをいただくことができました。

私の体調管理が行き届いておらず、当日に参加できなかったことが心残りであり、忸怩たる思いもありましたが、ともに企画を行ってきた地区役員をはじめ、ご来賓の皆様、ロータリークラブの皆様、ローターアクト友好地区/OB・OGの皆様、自地区ローターアクトのみんなのおかげで、無事成功を収めることができました。

ご参加、ご支援いただきましたロータリアンの皆様へ、改めて御礼を申し上げます。

ありがとうございました。



『世界でよいことをしよう！』

財団委員会通信

財団はわからない！ ・ 寄付集めの委員会？ ・ 寄付の行方は？

と、あるクラブ会員からこのような声を耳にします。

なぜだろう？と考えたとき、年2回のセミナーは開催されるも参加者は限られ、各会員に浸透しきれていないのではないかと考えました。

このような声に答えるため、小委員会が持ち回りで「ガバナー月信」に寄稿し、少しでも財団について理解を深めていただこうと発行に至りました。

まず、2022-23年度高橋年度の主たる行事を報告いたします。

- 地区補助金申請件数 36 件 (35 クラブ)
- 地区補助金オリエンテーション開催 (万代シルバーH)
- 第1回財団セミナー開催 (ANA クラウンH)
- ウクライナ災害救援支援 (DDF30,000 ドル)
- 財団寄付取組アンケート調査
- グローバル奨学生1名派遣 (英国) グローバル補助金申請件数 4 件
- 学友会総会 1 名参加 (東京)
- 財団地域セミナー 2 名参加 (神戸)
- 地区大会本大会にてポリオ啓発活動実施
- 11 月財団月間クラブへの卓話訪問&押しかけメッセージを実施
- 11 月財団高額寄附者感謝の集い午餐会を開催など、クラブの活動&委員会研修を支援して参りました。

次回以降は、小委員会毎に詳細に寄稿いたしますので会員の皆様のご意見・ご質問をお聞かせください。



第 2560 地区 2022-23 年度 2 月末 会員数報告

R	C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数				
				2022年 7月1日	2月末 会員数	うち女性 増減		
第1分区 (9クラブ)				-	372	381	37	9
		4	31.5%	88	89	0	1	
		3	19.5%	38	41	10	3	
		4	29.0%	33	31	1	-2	
		4	85.7%	44	49	3	5	
		2	21.1%	38	38	4	0	
		2	17.4%	23	23	2	0	
		4	4.3%	45	47	4	2	
		4	52.8%	36	36	7	0	
		4	25.9%	27	27	6	0	
第2分区 (9クラブ)				-	426	447	31	22
		4	25.0%	79	88	3	9	
		4	18.8%	63	64	8	1	
		4	33.9%	108	115	6	7	
		1	80.0%	5	5	0	0	
		3	47.5%	38	40	2	2	
		3	13.2%	38	38	4	0	
		4	28.9%	35	38	1	3	
		3	44.4%	18	18	0	0	
		4	53.7%	42	41	7	0	
第3分区 (5クラブ)				-	89	91	5	2
		4	18.8%	18	16	1	-2	
		4	50.0%	10	12	0	2	
		3	29.0%	30	31	1	1	
		4	38.5%	26	26	3	0	
		3	0.0%	5	6	0	1	
第4分区 (11クラブ)				-	350	363	26	13
		3	10.5%	55	57	0	2	
		3	8.6%	33	35	2	2	
		3	6.9%	32	29	4	-3	
		3	17.1%	35	41	2	6	
		4	73.3%	29	30	4	1	
		3	5.0%	21	20	1	-1	
		3	3.6%	28	28	3	0	
		4	9.4%	54	53	2	-1	
		3	7.4%	25	27	3	2	
		4	14.3%	6	6	2	0	
		3	5.4%	32	37	3	5	

R	C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数				
				2022年 7月1日	2月末 会員数	うち女性 増減		
第5分区 (7クラブ)				-	288	296	25	8
		3	72.9%	44	48	3	4	
		4	2.4%	40	41	0	1	
		3	25.5%	52	55	4	3	
		3	18.6%	43	43	2	0	
		4	14.3%	21	21	1	0	
		3	18.4%	49	49	3	0	
		3	23.1%	39	39	12	0	
第6分区 (6クラブ)				-	116	125	12	9
		3	27.3%	31	32	4	1	
		3	10.7%	28	32	4	4	
		4	19.2%	25	26	3	1	
		3	0.0%	14	14	0	0	
		4	21.4%	12	14	1	2	
		4	14.3%	6	7	0	1	
第7分区 (7クラブ)				-	313	314	22	1
		2	34.8%	70	69	4	-1	
		1	37.5%	72	72	6	0	
		2	11.4%	35	35	1	0	
		3	92.9%	41	42	3	1	
		3	66.7%	35	36	3	1	
		4	55.6%	27	27	0	0	
		3	93.9%	33	33	5	0	

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,954 人
2月末会員数	2,017 人
女性会員数	158 人
純増減会員数	63 人
My Rotaryアカウント登録率	29.5 %

地区主要行事予定

2023年3月20日現在

年 月 日		行 事		会 場	
2023年 (R5) 高橋年度	4月	環境月間			
		1	(土)	米山カウンセラー研修会	ホテルオークラ新潟
		1	(土)	第2分区IM (森田G補佐・新潟南)	ホテルオークラ新潟
		8	(土)	グローバル補助金奨学生選考会	万代シルバーホテル
		15	(土)	柏崎RC創立70周年記念式典	産業文化会館
		15	(土)	第4分区IM (渡邊G補佐・巻)	ホテル富士屋
		16	(日)	白根RAC創立50周年記念式典	サルナート吉運堂
		20~21	(木~金)	クラブ活性化セミナー 2023	東京プリンスホテル
		22	(土)	新発田RAC50周年記念式典	月岡 白玉の湯泉慶
		22	(土)	雪国魚沼RC創立60周年記念式典	ナスパニューオータニ
		22	(土)	米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会	ANAクラウンプラザホテル新潟
		22	(土)	第3回派遣学生オリエンテーション	ホテルオークラ新潟
		23	(日)	長岡西RC創立40周年記念式典	長岡ベルナール
	5月	青少年奉仕月間			
		13	(土)	新潟中央RC創立30周年記念	ANAクラウンプラザホテル新潟
		20	(土)	米山年度 地区研修・協議会	燕三条地場産業振興センター
		20~21	(土~日)	全国RYLA研修会	札幌
		27	(土)	小千谷RC創立60周年記念式典	小千谷総合産業会館サンプラザ
	27~31	(土~水)	RI国際大会	メルボルン(オーストラリア)	

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
新潟南	長崎 考男	2023.02.01	玉源(株)	次長	事務機販売
直江津	屋 義昭	2023.02.01	(株)INPEX 国内事業エネルギー本部 直江津LNG基地	所長	ガス業
新潟南	徳田 茂樹	2023.02.15	(株)特殊技研興業	代表取締役	建築・土木
小千谷	山崎 光輝	2023.02.16	(有)サンテック	代表取締役	建設業
小千谷	内山 淳一	2023.02.16	(株)吉村組	代表取締役社長	建設業
小千谷	阿部 吉之助	2023.02.16	(有)びんしょう	代表取締役社長	美容業
小千谷	小林 勇貴	2023.02.16	(株)K-WORKS	代表取締役	鉄工電子加工業
白根	坂上 勝利	2023.03.01	社会福祉法人 敬世会	理事長	幼稚園園長
長岡東	今井 慶子	2023.03.01	グローバル建材(株)	代表取締役	建築資材卸売業
巻	込山 孝一郎	2023.03.01	(有)込山電機	代表取締役	電気設備工事
中条胎内	栗田 克成	2023.03.03	(有)栗田建材	代表取締役	運送業
高田	遠藤 正義	2023.03.10	(株)岩の原葡萄園	代表取締役社長	葡萄酒製造
高田東	小嶋 吉和	2023.03.13	(株)小嶋	代表取締役	内装工事

【訃報】

(敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
新潟東	栗山 清	2023.2.17	(株)栗山米菓	相談役	名誉会員	PG 他 (名誉会員)



第2地域 ロータリーコーディネーター補佐 若林 英博（東京麹町）

会員増強について考えます。

「オープン例会」

沢山の手法の中で何がベストかと申し上げますと、オープン例会でしょう。

オープン例会とはクラブの通常例会にゲストをお招きして、実際の活動を見聞していただく、そして入会に繋がるようにお誘いをする例会です。前年度に当地区で試したところ、特に効果

的であるのは地区内クラブが同じ週に一斉に開催する方法だとわかりました。交通安全週間や読書週間のようにみんなが頑張る。隣のクラブも頑張っている、我々も負けていられない。結果的にこういった競争心も手伝って、1クラブ平均 2.5 人の入会がありました。クラブ紹介カードの活用や『ロータリーの友』の配布など様々な手法がありますが、結果として成果が出たのはオープン例会です。しかしながら、オープン例会にゲストをお呼びするのが最大の課題です。

「人の魅力」と「組織の魅力」

私が 2021-22 年度ガバナーとして公式訪問で行った卓話では、会員増強は二つの側面から考えて欲しいと申し上げて参りました。一つは「人の魅力」、二つ目は「組織の魅力」です。

一番の要素は人の魅力だと思います。ロータリーの 4 つのテストは正しく人の魅力の核となるもので行動の規範です。信用信頼が得られている方には自ずと人は集まってきます。私は 40 歳で JC を卒業する時に、先輩からロータリーへ誘われました。私の父も兄もロータリアンで、小さいころからクリスマス例会などに連れて行ってもらいと、プレゼントをいただき嬉しく楽しかったのを覚えています。入会を勧められ咄嗟に考えたのは、もし私がそのクラブに入会すれば、人生の結構な時間をその方と共有することになるということでした。はっきり申し上げまして、その先輩の人となり若干知っていましたので即座にご遠慮申し上げました。その方と長い時間を共に過ごすのは気が進みませんでした。思い返しますと、これこそが人の魅力でしょう。私はこのことを自分自身に置き換えて、精進しなければなりません、ロータリアンは自分中心でなく、利他の精神を持つ、その結果会員増強に繋がるのだと思います。

「組織の魅力」は、ロータリーの公共イメージで判断されます。盛んに公共イメージを上げましょうとどのクラブも頑張っています。ポリオ根絶、災害支援、地域での奉仕活動、こういった活動はロータリーのイメージアップに繋がります。引き続き行っていく必要があります。但し気を付けなければならないのは行動さえすれば、会員が増えるという考えです。この考えに私は首をかしげます。DEI を理解し、組織の良い公共イメージを基盤として、さらに大事なものは、自分自身の魅力であって、感動を持って人生を楽しみ、4 つのテストを実践し、職業奉仕の考えを活かした会社経営、社会への奉仕活動をしているかどうかです。

皆様におかれましては、更に魅力ある人として、会員増強に励んでいただきますようお願いいたします。そしてその手法は「オープン例会」です。資料はこちら→





第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 桑澤 一郎（茅野）

昨年のポリオデーのポータルサイトを作成管理させていただき、微力ながら皆さまの役に立てたことを大変光栄に思っております。

次年度のポリオデーに向けた方針策定も佐藤理事や RPIC の皆さまにより指針がほぼ決まりつつあり、それを基にポータルサイトも次年度仕様に少しずつ改変されております。

再度ポータルサイトを訪れていただき、新たに追加されました「22年ポリオデーの実績報告」のページなどをご覧いただき次年度の活動の参考にさせていただきたいと思っております。

世界ポリオデーJAPAN ポータルサイト：<http://endpoliorotary.club>

さて話は変わりますが、今話題の「ChatGPT」についてご紹介いたします。AI が様々な疑問に的確に返答してくれるサービスです。回答は当たり障りのないものが多いですが、端的にまとめてくれるので、決まり切った文章を書く際には非常に重宝します。

以下は私が試した質問と回答です。

質問：ロータリークラブの公共イメージ向上方法についてのアイデアを教えてください

ChatGPT による回答：

コミュニティ活動の積極的な実施：ロータリークラブは、地域社会で様々な活動を行っています。クラブメンバーが地域の問題に取り組む姿勢をアピールすることで、クラブが社会貢献活動に力を入れていることをアピールできます。

1. クラブの PR 活動：クラブが行っている活動を広く知ってもらうために、ロータリークラブのホームページや SNS、地域紙などを活用して、クラブの PR を行うことが重要です。さらに、クラブのメンバーが積極的に自分たちのクラブについて話題にしていくことで、ロータリークラブの知名度を上げることができます。
2. プロジェクトの多様化：ロータリークラブは、慈善活動や社会貢献活動を行うことが多いですが、プロジェクトの内容を多様化することで、多様な人々が参加しやすくなります。例えば、環境保全活動や文化交流プログラムなど、多様なテーマのプロジェクトを行うことで、より幅広い層の参加を促すことができます。
3. 若い世代の参加促進：(文字数の関係で省略)
4. 国際交流の拡大：(文字数の関係で省略)

以上のようなアイデアを実践することで、ロータリークラブのイメージ向上が図られます。

どうでしょう？当たり前と言えば当たり前のことを回答してきましたが、基本的なことをしっかり押さえた回答ですから、役に立つ場面もありそうです。「女性会員を増やすにはどんなことをすればよい？」「若者に興味を持ってもらうには何をアピールすべき？」などの質問にも答えてくれます。偏りがちな自身の価値観を見直すきっかけにもなるかも知れません。一度お試し下さい。以下の URL から sign up（登録）すれば無料で利用できます。<https://chat.openai.com/auth/login>



1. マレーシア米山学友会 総会開催

マレーシア米山学友会の総会が3月5日、首都クアラルンプールに隣接するセランゴール州で対面開催され、20人のマレーシア学友が参加しました。今総会の様子はオンラインでも配信され、18人が画面越しに参加しました。

総会では、活動報告、会計報告に続き、次年度の新たな会長の選出が行われ、現副会長の黄建榮さん（1998-2000／室蘭東RC）が次年度の会長に決まりました。創立時から6年にわたって会長を務めてきた黄麗容さん（2001-04／横浜泉RC）は、名誉会長として引き続き同学友会のサポートを続ける体制となります。

黄麗容会長は退任にあたり、「米山記念奨学会をはじめ、ロータリアンの皆さま、各国の学友たちの力強いご支援をいただいたおかげで、マレーシア米山学友会が大きく発展することがで



お揃いのシャツを着て総会を開催

き、心から感謝しています。私たちが築き上げてきた絆と、社会・環境奉仕活動の力は、新会長のリーダーシップの下で、さらに発展していくと確信しています」と、今後の学友会の発展に期待を寄せました。

2. 寄付金速報 — 2月も好調を維持 —

前年同期比

+ 6.7%

普 - 2.6% 特 + 12.0%

2月までの寄付金は、前年同期と比べて6.7%増（普通寄付金：2.6%減、特別寄付金：12.0%増）、約7,200万円の増加となりました。また、2019年度以降初

めて、2月単月の寄付合計金額が7,000万円を超えることができました。皆さまからのご支援に、改めて感謝申し上げます。コロナの規制も緩和されつつあり、今後はさまざまな形式での交流が可能となることが予測されます。引き続きご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

登録受付開始

世界米山学友による「再会 in 関東」登録受付開始

8月5日、6日に開催される「再会 in 関東」の登録がスタートしています。米山学友の活躍を実感し、ロータリーファミリーの輪を広げることのできるまたとないチャンスです。ロータリアンの皆さまも、ぜひお申し込みください。

- 本会議会場：つくば国際会議場（茨城県つくば市）
 - 参加費：ロータリアン（ロータリアン学友含む）とその家族 15,000円
米山学友・奨学生、その他（学友のご家族、友人など） 7,000円
 - 登録に関する問い合わせ：saikaikanto@gmail.com
 - プログラムに関する問い合わせ：yoneyamaworld@gmail.com
- 専用ページ --> <https://yoneyama.my.canva.site/saikai-in-kanto>

再会 in 関東 専用ページ



3. 第4回 ミンガラ奉仕デー 日本語 CAFÉ 開催

東京米山ロータリーEクラブ 2750 の活動のひとつに「田中作次奨学金」があります。これは、元国際ロータリー会長である田中作次氏の冠名奨学金で、ミャンマーの若者へ教育支援をするものです。ミャンマー米山学友会と連携し、米山奨学金制度を模範として、学友たちが自ら現地奨学生の選考を行っています。

2月19日、今年の田中作次奨学生たちとミャンマー米山学友会有志、ロータリアンや現役米



山奨学生がオンライン交流する「第4回 ミンガラ奉仕デー 田中作次奨学生 日本語 CAFÉ」が ZOOM で開催され、44 人が参加しました。ヤンゴン在住で、企画担当のケイ ズイン ウインさん（2011-13/東京たまがわRC）が日本語とビルマ語で進行役を務めました。日本留学において気を付けること、日本語の学習方法といったものから、少子高齢化問題など、各グループが日本に関連する幅広いテーマで交流しました。

参加した田中作次奨学生からは、「自ら話をするのは緊張したが、参加者の雰囲気づくりのおかげで聞きたかったことが聞けた」、「質問することに慣れる、という大切なことを教えてもらうことができた」といった感想が述べられました。また、同クラブで開発中の「非漢字圏の日本語学習者のための生活支援漢字アプリ」が、実用的な学習方法のひとつとして紹介されました。第5回は、5月13日に開催予定です。

4. 「ここからが始まり」 米山奨学生期間終了式

3月4日、国際ロータリー第2580地区の米山奨学生期間終了式が都内会場にて開催され、2022 学年度の奨学期間を終了した米山奨学生、継続奨学生およびカウンセラーら108人が出席しました。また、同地区米山学友会の6人が終了式の運営をサポートし、後輩たちの新たな門出を見守りました。

同地区の猪飼米山委員長の挨拶の後、当会から出席した柚木事務局長が祝辞を述べました。奨学生一人一人が壇上で終了証を受け取り、米



晴れやかな表情で記念撮影

山奨学金と、お世話になったカウンセラーやロータリアンへの感謝を述べ、「ここからが始まりだと思って努力したい」、「学友会に入って、ロータリーとの繋がりを大切にする」、「自分の専門の研究で成果を出したい」といった、各々の思いや抱負を語りました。

最後に、同地区の嶋村文男ガバナーから「皆さんの努力する姿から、私たちロータリアンが学ぶことがたくさんあります。ぜひ今後もカウンセラーや世話クラブとの繋がりを大切にしてください」というメッセージが贈られました。



終了証を受け取った奨学生(中央)と世話クラブのロータリアン